

コラム 市民相談から見える世相

先日、市民の方から、「近所の家の生垣が道路までせり出して、見通しが悪く危ない。切るように言ってもほしい」という相談がありました。「まずは直接ご自分で話してみてもいいですよ」と、「ちょっと変な人なので、言っても聞いてくれない」とのこと。「では、自治会長さんと一緒に話に行ってみては?」「そんなことしたら、『自治会長なんかには言いつけやがって』と逆恨みされる」

「だったらよけいに、いきなり僕が行って『近所に迷惑がかかっているから生垣を切ってくれ』なんて言ったら、それこそ『市議員なんかには言いつけやがって、誰や、いったい!』と、間違いないで逆切れされますよ」というようなやり取りとなり、結局、まずは自治会長さんを通じて話をすることになりました。

よく「最近の若い人たちは隣近所とのつき合いもしない」なんて言いますが、

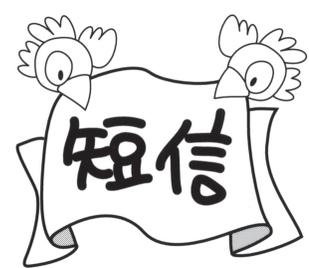
「最近の若い人」ではないのです。決して「最近の若い人」ではないのです。やはり地域の問題は、まず住民自身の話し合いで解決するのが筋ではないでしょうか。もちろん、いろいろな人がいます。考え方もまちまちですし、「考え方」とかいう以前に、クセのある、アクの強い、それこそ「ヘンな人」もいます。摩擦が生じるこ

と当然あります。ですが、その摩擦は結局のところ、話し合い・譲り合いで解決するしかありません。面倒だし、すんなりうまくいくとは限りませんが、そこをすつ飛ばしていきなり行政なり議員なりに依頼する、というのは大いに違和感があります。生垣を切る・切らないは、一見、取るに足らない問題にも思えますが、自分が暮らす地域での具体的な問題

にどう対応するか? 実はこれは、「地域の問題は自分たち地域住民が決める」という「住民自治」の問題に他ならないし、これを話し合いによって解決することは、少し大げさですが、「日常生活レベルでの民主主義」なのであり、これを軽んじることは民主主義を軽視することだ、とは言えないでしょうか?

7月の参院選の投票率は48・8%、

国政選挙としては異例の低



た。半数以下



さとなりまし

▲吉岡さん

(吉岡 浩)

8/3 能勢農場夏祭り 夏の楽しい思い出のため 提灯付けを続けていきたい



能勢農場は太田電気最初の顧客になりました。そこから夏祭りの提灯付けが始まり、以後33年続いています。今年で32回になります。

最初の頃は祭りの規模も小さく開催時間も曖昧で、最後は盛大なキャンプファイヤーで終わっていました。それからよつ葉グループも拡大し、各産直センター、PB工場も参加。そして、関係者の世代交代の時に盛大に開催することになり、提灯付けも以前の倍に！

私もうい年になりましたが、まだまだ夏の楽しい思い出のため、せめて後8年、提灯付けを続けていきたいと思っています。

(太田電気工業 太田 薫)



7/27 夏休み子ども木工教室 今年も開催しました

夏休み子ども木工教室は、今年で16回目を迎えました。7月27日は大阪市中央区のドーンセンター多目的ルームでコミュニティ建築事務所が、8月3日は伊丹市の榊丹生の会議室と高槻市原でイノウエ建築工房が、2日間3カ所で行いました。

開催回数を重ねるほど、お兄ちゃんやお姉ちゃんと一緒に弟さんや妹さんが参加され

6/23 兵庫いきいきコープ 第21回通常総代会

職員の協力体制を整え安定運営を

昨年来、配送メンバーの退職が相次ぎ、人員不足をよつ葉の他産直のご協力をいただいたながらなんとか、日々の配達業務をこなしてきたことを率直に報告いたしました。当然、これまで積極的に取り組んできた組合員活動、拡大活動は十分に行うことができず、その結果が組合員数・供給量の減少という数字に顕著に現れました。

顔の見える、安全で安心できる食材に日々接する意義ある職場から、なぜ職員が離れていくのか。改めて問い直しました。小さい組織ながら、配送を中心に業務は多岐にわたり、連携・協力体制が十分なまま進んでいたこと。そのためやりがい、達成感、方向性を共有できなくなっていたのがそもそもの要因だったと思います。

それを職員同士で再確認した上で、コミュニケーションの充実、協力体制を整えることと、安定した事務局の運営を目指し、安全で信頼できる食糧を通して組合員の生活を支え、この事業を通じて私たち職員の生活がなりたっている基本を再確認することを今後の活動方針の根幹として提案し、承認を得ました。なお、役員体制につきましては、私、吉岡が専務理事に就任致しました。

(吉岡 浩)

リピーターのご家族が見えます。『釘を打つのが楽しかった』『手間をかけて作るとけっこうたいへんだったけど、ものすごく楽しめた』『安心感の中で作業ができ、親としても温かく見守ることができています。今年もマガジンラックの制作をしました。制作風景の写真をご覧ください。』

(見える家づくり集団 小峠 敏幸)

《共同利用・相互協力をつよめよう》 《買う人が売る人に、売る人が買う人に》 《販売ルート相互紹介で事業の拡大を》

新規会員 募集中!

**よつ葉の輪を
広げよう**

関西よつ葉連絡会

(有)よつ葉ホームデリバリー 京阪

〒614-8142 京都府八幡市下奈良南頭18
☎ 075-971-5503 FAX 075-971-5504

**監視社会お断り!
共謀罪を廃止に**

**よつ葉ホームデリバリー
(株)阪和産直センター**

〒594-0073 大阪府和泉市和気町1-32-10
☎ 0725-46-2515 FAX 0725-46-2516

**競争ではなく
共存の道を**

(株)能勢農場

大阪府豊能郡能勢町山辺173-2

☎ (072) 734-1797
FAX (072) 734-1860

6/26 能勢食肉センター 第21期定時株主総会

常総生協に牛肉 供給をスタート

能勢食肉センターの第21期定時株主総会を開催しました。直前にハム工場の工場長が緊急入院する事態となり、食肉センターの現場を長年担ってきた職員の定年退職にどのように対処していくのかという、準備してきた課題が一層、厳しく問われる総会となりました。

6/30 北摂・高槻生協 第34期通常総代会

地球環境問題について特別決議

これといった特効薬があるわけではありません。新しい人材確保にむけて、各方面に声をかけ、仕事の効率化をすすめるながら、次の体制づくりを時間をかけて模索していただくと考えています。

初めに、昨年の大阪北部地震、大型台風と立て続けに起こった自然災害について報告。高槻生協では特に9月の台風により、生協センター、事務所の建屋が大きく損壊。2日間にわたる停電で事務所、冷蔵機能が麻痺、全て

が、被災時の混乱や物流機能の停止により6月や9月は前年比10%近い供給減となるなど、事業面で大きな影響を及ぼしました。結果、課題となっていた職員の補充は果たせましたが、組合員拡大は捗らず、供給高が微減、組合員数も減少という結果となりました。19年度

能勢農場の肥育現場が安定して、出荷される牛の枝重が増加してきた状況を踏まえ、7月から、関東でおつき合いの長い、常総生協に牛肉商品の供給をスタートしました。畜産と食肉加工が直接つな

がって生産される牛肉の価値をていねいに伝えることで、よつ葉がめざしてきた食への取り組みが広く関東へも届くよう、始まった新しい関係を大切に育てていければと思っています。(津田道夫)



▲隣の屋根が倒れ込んできた昨年の台風被害

は、事業面では消費増税により消費への悪影響が予想されます。また、少子高齢化によ

る市場の縮小、さまざまな宅配システムとの競合で厳しい事業環境が続くと予測されていますが、高槻生協の社会的な存在価値を高め、より地域に根ざし組合員拡大を進めていきます。

況下、地球環境問題への取り組みもさらに踏み込みます。私たちは核のゴミを生み続ける原発の稼働に反対し、地産地消を通じて地域の農業や自然を大切にすることに取り組んできましたが、環境への取り組みはまだまだ不十分です。今回の総代会では、自身の足元を見直す意味も含めて「生存可能な地球を次世代に、実効性のある環境保護施策を」と特別決議を採択しました。(津林勇太)

7/8 安全食品流通センター 第33期株主総会

物流事業の今後について全体論議を

第33期もわずかですが黒字を計上することができました

た。しかし、骨格事業である物流部門を見ると、実質赤字という非常に厳しい内容でした。ここ数年続いているよつ葉全体の売上減による物流手数料収入の減に加え、最低賃金の見直しなどの人件費の増、物流経費の増が主な原因です。経費削減といった経営努力はもちろんです。事業の構造上、当社だけの取り組みだけでは解決できない部分、限界があります。そこで今期はよつ葉全体の安定した物流、運営と今後事業そのものを継続維持していくため

と、議論の場を積極的に呼びかけていくことを提案しました。社内的には、人員体制の補強が喫緊の最重要課題で、特に昨年12月、要の受発注部門が空席となり、急ぎよ、昨年退職した森川さんに応援してもらおう事態が続いています。年内には業務の引継ぎをおこない暫定的な体制を解消することを第一とした事業計画、予算案などが承認されました。



の全体物流コストの再点検と見直し、構造を関西よつ葉連絡会全体で議論する必要性

と、議論の場を積極的に呼びかけていくことを提案しました。

(松川泰樹)

■少子高齢化を人質に取る消費税

皆さん、こんにちは！ 税理士の和田秀幸です。商工経営センター、北大阪商工協同組合で、会計や税務申告などの仕事をしています。一口に税金と言ってもその数は多く、国税と地方税を合わせて約50種類の税金があります。その中から、身近な税の話題をひとつ紹介します。

知っていますか？ 「少子高齢化を人質に取っている消費税」。実は、消費税と少子高齢化は表裏一体、切っても切れない関係になっています。

■財政支出の実態を正しくいこう

これからの時代は、高齢者のこと、若い世代のこと、そして国の未来を背負っていく子どもたちのことを抜きにし

て語ることはできません。否このことへの対応が最重要課題であることは明白です。私も親の介護では、介護保険制度のありがたさを実感しました。この介護保険にも、消費税収が充当されているはず。さまざまな社会的サービスの充実のために税収が有効に使われることに異論はありません。使い古された言葉ですが、「入るを量りて、出づるを制する」。家庭でも、事業経営でも、国家財政でも、とても大事なポイントです。現状の消費税収(国と地方合計)は約22兆円、消費税1%当たりの税収は約2.8兆円。さらに10月からは10%に増税されます。この税金の負担者は、消費者である国民です。今の日本の経営状況は、どうなっているのでしょうか。何より大切なことは、国家財政の支出の内容と中身、実態をしつかりと精査し、正しくいくことが国民、納税者として求められていることだと考えます。

こんな仕事をしています

組合顧問 和田秀幸税理士

《共同利用・相互協力をつよめよう》 《買う人が売る人に、売る人が買う人に》 《販売ルート相互紹介で事業の拡大を》

組合員企業の 職員車検割引 好評実施中!! 見積もり無料!! 車のことなら何でも気軽にご相談、お電話ください!! 北大阪商工組合の 車屋さん (株)協同自動車 箕面市今宮3-17-2 (072) 729-2180 FAX (072) 728-2866

商工組合組合員各社職員の皆さんに サービス実施中! 全クリーニング 1割引!! 石けんによる各種住まいのクリーニングは よつ葉クリーンサービス ☎072-657-7081 FAX 072-657-7082

自然の味をそのままテーブルへ 国内産小麦パン (有)パラダイス&ランチ 〒569-0825 大阪府高槻市栄町2-10-3 ☎072-695-1300

連載

高槻市議会議員の高木さんがマンガで世相を斬る!

わ-わ- 言うとります



だ小学生の頃でした。

9月に、四国の親戚に食料をもらうため両親と弟が乗った船が機雷に触れて沈没。迎えに来たおじさんに戦争孤児になったと聞かされたのは、まだ小学生の頃でした。

「制度の狭間」を埋める福祉がオシテルヤの活動の根幹

オシテルヤ(大阪市東住吉区)では仕事づくりセンターと協同して仕事づくり活動をしていきますが、実は訪問介護や障がい者の就労支援事業所、いわゆる作業所の運営など、福祉の仕事もしています。野宿者や生活困窮者の支援の活動をベースにしていますので、「ならでは」という問題にも多く突き当たります。

最近、長年の野宿生活からアパート生活に移ったMさんは病院が大嫌いで、ぜったい

病院には行かない! 医師の意見書がないと福祉サービスの利用はできませんから、ぼくらはボランティアで家庭訪問をしながら、ご本人が医療を受けようという気持ちになるまで、じつと機会をうかがっています。お金がもつたいないから国民健康保険の保険料も払わない! という人もいます。その場合もやはり制度は利用できません。

でも、住民票がなくても、ホームレス状態でも福祉制度を利用できるべきだと考えていますが、現実にはなかなか行政は動かないので、誰かがどこかで「制度の狭間」を埋めていかないと、必要な支援を受けることができません。そこで、生活保護申請から始まり、アパートの契約書類の作成や、戸籍などの本人確認書類の入手・作成など、居宅での生活をスタートし、「福祉制度に乗せるための支援」が必要になってきます。ご本人への動機づけも含めて、この制度外の福祉がオシテルヤの活動の根幹でもあるのです。

成や、戸籍などの本人確認書類の入手・作成など、居宅での生活をスタートし、「福祉制度に乗せるための支援」が必要になってきます。ご本人への動機づけも含めて、この制度外の福祉がオシテルヤの活動の根幹でもあるのです。

（関西仕事づくりセンター・オシテルヤ 中桐康介）

8/11

子どもたちと考える戦争と平和展

戦争は終わっていたのに



高槻の「子どもたちと考える『戦争と平和』展」で狩野豊子さんが、毎日ひもじく、ノミ・シラミの学童疎開の暮らしを語りました。敗戦後の9月に、四国の親戚に食料をもらうため両親と弟が乗った船が機雷に触れて沈没。迎えに来たおじさんに戦争孤児になったと聞かされたのは、まだ小学生の頃でした。

上の記事に絡んで、少し前に「駅の子」の闘いを語り始めた戦争孤児〜(NHK)という動画を見た。駅で寝泊まりするため「駅の子」とも呼ばれた戦争孤児。総勢12万人とも言われるが、過去を隠して生きた人が多く、実態は未だよく分かっていないという。「戦争が終わってからは本當の闘いが始まった」との証言。戦いで犠牲になるのはいつも若者だ。

(地域・アソシエーション研究所 山口協)



6/12 福島の子どもたちに被ばくの低減と健康を! よつば関西保養キャンプ

今年は子どもたちに「大阪っぽいところを見せよう」と、万博記念公園(吹田市)に遊びに行きました。危険を感じるほどの暑さで広場の遊びは断念! でも「太陽の塔のお腹の中」を見学して、みんな大喜びでした。

(2019年実行委員長 奥村 幸一)



7/12 毎年恒例! 淀川産直 そうめん流し

9月の「ライフ」の新商品~オーガニックコットン100%のタンポン

女性の必需品を注文するので電話口が女性でよかったとお声をいただきます。そんな話を少し。

オーガニックコットン100%のタンポンが、よつ葉のカatalog「ライフ」に新商品で並んだのをチェックされましたか? 日本ではオムツや生理用品が消費税の軽減税率適用外なのはおかしいとネットでは炎上したようですが、一生の生理の回数が12歳から50歳まであったとして38年間で456回。2人子どもを産んだら420回。深く考えてもよい回数ですよ。タンポンを使用する女性に多く、細菌感染が原因で起こるトキシック・ショック症候群という、生存率が1%の病気を知っていますか? 清潔に保つためにはまめに交換することが必要です。気になるところは費用ですね。

オーストラリアは生理用品の税金を廃止しています。おもしろいのはドイツが10%から7%に軽減される生理用品付きの本が販売されていることです。

某テレビで、医療用シリコンを使い匂いを抑え繰り返し使える月経血カップや、病気のリスクを減らすため、年3回に生理を抑えるピルなどの最新情報にびっくりしつつ、安全性は? と頭がついていかない古い人間かもしれません。

よつ葉で扱っている『ナチュラルムーン』の生理用品は、体が冷える原因と言われる高分子吸収材(息子がおでこに貼るのを嫌がった熱とりシートと同じ素材)を使っておらず、酸素漂白で温かい気がします。私には将来更年期が楽になるように購入しています。皆さんはどうされていますか?

海外ではアメリカのニューヨーク州、フロリダ州、インド、カナダ、

(淀川産地直送センター 幸森友)

《共同利用・相互協力をつよめよう》 《買う人が売る人に、売る人が買う人に》 《販売ルート相互紹介で事業の拡大を》

経営のお役立ち情報

経営センターだより

経営相談 経理入力 給与計算 年末調整
経理講習会 など ●お気軽にお電話ください

株 商工経営センター
豊中市上野東3-18-15-2F
☎(06) 6846-9700 FAX 06-6846-2175

Culture & Communication

封筒・伝票 から
パッケージ・美術印刷

国際印刷出版研究所
大阪市大正区三軒家東3-11-34
☎06-6551-6854 FAX 06-6551-1259

サービス付き高齢者向け住宅

Nursing Home SAKURA
ナーシングホーム さくら
高槻、箕面、池田にて5ヵ所
医療ニーズの高い方にも対応しています

お問い合わせフリーダイヤル 0120-130-396

運営:株式会社 アットホーム (大阪府高槻市)